

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成20年12月11日 (2008.12.11)

【公表番号】特表2008-517037(P2008-517037A)

【公表日】平成20年5月22日 (2008.5.22)

【年通号数】公開・登録公報2008-020

【出願番号】特願2007-537278(P2007-537278)

【国際特許分類】

A 0 1 N 31/02 (2006.01)

A 6 1 K 8/34 (2006.01)

A 6 1 K 8/40 (2006.01)

A 6 1 K 8/36 (2006.01)

A 6 1 Q 15/00 (2006.01)

A 6 1 P 17/00 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 P 17/10 (2006.01)

A 6 1 P 31/10 (2006.01)

A 6 1 K 31/047 (2006.01)

A 6 1 K 31/05 (2006.01)

A 6 1 K 31/27 (2006.01)

A 6 1 K 31/216 (2006.01)

A 2 3 L 3/349 (2006.01)

A 2 3 L 3/3508 (2006.01)

A 2 3 L 3/3517 (2006.01)

A 2 3 L 3/3481 (2006.01)

A 0 1 N 37/02 (2006.01)

A 0 1 N 37/10 (2006.01)

A 0 1 N 47/12 (2006.01)

【 F I 】

A 0 1 N 31/02

A 6 1 K 8/34

A 6 1 K 8/40

A 6 1 K 8/36

A 6 1 Q 15/00

A 6 1 P 17/00 1 0 1

A 6 1 P 43/00 1 2 1

A 6 1 P 17/10

A 6 1 P 31/10

A 6 1 K 31/047

A 6 1 K 31/05

A 6 1 K 31/27

A 6 1 K 31/216

A 2 3 L 3/349

A 2 3 L 3/3508

A 2 3 L 3/3517

A 2 3 L 3/3481

A 0 1 N 37/02

A 0 1 N 37/10

A 0 1 N 47/12 Z

## 【手続補正書】

【提出日】平成20年10月20日(2008.10.20)

## 【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

(a) 1,2-ヘキサンジオールおよび1,2-オクタンジオール、および

(b) 1、2またはそれ以上の、ソルビン酸カリウム、パラベンおよびヨードプロピニルブチルカルバメート(IPBC)からなる群から選択される物質、を含む、またはこれら成分からなる抗菌性混合物。

【請求項 2】

更に、成分(a)として1,2-ペンタンジオールおよび/または1,2-デカンジオールを含む請求項 1 記載の抗菌性混合物。

【請求項 3】

化粧料製剤または医薬製剤または食料品であって、

(a) 1,2-ヘキサンジオールおよび1,2-オクタンジオール、および

(b) 1、2またはそれ以上の、ソルビン酸カリウム、パラベンおよびヨードプロピニルブチルカルバメート(IPBC)からなる群から選択される物質、および

(c) 更に、公知の成分、

を含み、成分(a)および(b)に関連する物質の全量が、該製剤または該食料品の全質量に対して、0.01～30質量%なる範囲内にあることを特徴とする、上記化粧料製剤または医薬製剤または食料品。

【請求項 4】

更に、成分(a)として1,2-ペンタンジオールおよび/または1,2-デカンジオールを含む請求項 3 記載の化粧料製剤または医薬製剤または食料品。

【請求項 5】

該使用する1,2-ヘキサンジオールおよび1,2-オクタンジオールおよびまた任意の1,2-ペンタンジオールおよび/または1,2-デカンジオールの全質量に対して、2～10質量%なる範囲の割合で、IPBCを含有する、請求項 1 または 2 記載の抗菌性混合物または請求項 3 または 4 記載の製剤または食料品。

【請求項 6】

各例において別々に考察して、成分(a)に関する物質の量および/または成分(b)に関連する物質の量が、抗-微生物的に有効ではないが、成分(a)および(b)に関連する物質の全量が、抗-微生物的に有効であることを特徴とする、請求項 1、2 または 5 記載の混合物または請求項 3、4 または 5 記載の製剤または食料品。

【請求項 7】

(a) 1,2-ヘキサンジオールおよび1,2-オクタンジオール、および

(b) 1、2またはそれ以上の、ソルビン酸カリウム、パラベンおよびヨードプロピニルブチルカルバメート(IPBC)からなる群から選択される物質、を含む、もしくはこれら成分からなる混合物の、抗菌活性物質の混合物としての使用。

【請求項 8】

更に、成分(a)として1,2-ペンタンジオールおよび/または1,2-デカンジオールを含む請求項 7 記載の使用。

【請求項 9】

以下の工程を含むことを特徴とする、腐敗し易い製品を保存し、またはこれを抗-微生物処理する方法：

抗-微生物的に有効な量の、以下に列挙する成分：

(a) 1,2-ヘキサンジオールおよび1,2-オクタンジオール、および

(b) 1、2またはそれ以上の、ソルビン酸カリウム、パラベンおよびヨードプロピニルブチルカルバメート(IPBC)からなる群から選択される物質、  
を含む、またはこれら成分からなる混合物と、該腐敗し易い製品とを接触させる工程。

【請求項 10】

抗-微生物的に有効な量が、アスペルギルスニガー (*Aspergillus niger*) に対して有効な量である、請求項 9 記載の方法。

【請求項 11】

更に、成分(a)として1,2-ペンタンジオールおよび/または1,2-デカンジオールを含む請求項 9 または 10 記載の方法。

【請求項 12】

(i) 体臭の原因となる微生物、

(ii) アクネの原因となる微生物、および/または

(iii) 真菌症の原因となる微生物、

の化粧学のおよび/または治療学的処置のための組成物であって、以下の成分：

(a) 1,2-ヘキサンジオールおよび1,2-オクタンジオール、および

(b) 1、2またはそれ以上の、ソルビン酸カリウム、パラベンおよびヨードプロピニルブチルカルバメート(IPBC)からなる群から選択される物質、  
を含む混合物、またはこれら成分からなる混合物の、抗-微生物的に有効な量を含むことを特徴とする、上記組成物。

【請求項 13】

更に、成分(a)として1,2-ペンタンジオールおよび/または1,2-デカンジオールを含む請求項 12 記載の組成物。